

高松学習館運営協議会（令和3年3月）会議録概要

開催日時 令和3年3月24日（水曜日）午前9時30分～午前11時00分

開催場所 高松学習館 第2教室

出席者 [委員] 小林理哉（社会福祉協議会）

有本悟（高松児童館）

橋本登（立川市市民交流大学推進委員会）

小倉亮一（立川市市民交流大学推進委員会）

難波敦子（学習館利用団体）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 4名

[事務局] 石井孝（高松学習館係長）、富田瑞代（高松学習館市民囑託）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ

会長欠席のため、副会長が司会進行を務めた。

2. 報告事項

・事務局より

・夜間貸出再開：緊急事態宣言の解除により学習館の夜間区分の貸出を再開することになった。都の方針で3月末まで利用団体にはできるだけ午後9時迄の利用で協力をお願いしている。夜間は午後6時～10時で一部返金はできない。

・きらりたちかわ春号(vol.55)配布

・2月～3月実施の事業（「誰でもコンサート」、「アンガーマネジメントを学ぼう」、「新田砂川を訪ねて～ふりかえり」）の参加者アンケート集計結果を配布した。どの事業も大好評だった。

「誰でもコンサート」は、さかえ会館で大人向けと子ども向けの2部制で実施し、「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」について周知もできた。演奏もトークも楽しくとても心温まるコンサートだった。いろいろな案内文に記載されている年号を西暦に揃えた方がわかりやすいという意見があった。来年度は幸学習館で実施する予定。「アンガーマネジメント」講座は講師と相談し、錦学習館と日程や内容を調整して来年度も3月に実施予定。立川市民科講座「新田砂川を訪ねて～ふりかえり」は成果物として発行するブックレットの表紙のデザインと色を決定するにあたり、市民に投票していただけるよう、廊下に展示中。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 会議開催日程（案） 確定された。

(3) 文化祭

・地運協ワークショップ企画書（事務局提案）について協議した。

事務局よりこれまでの実施内容について説明があった。お茶とお菓子をふるまいながらワークショップで市民からいただいた意見をもぞう紙に貼っていき、

運営協議会として生涯学習推進センターに市民の要望として上げたことにより、いくつか実現した事例（お手洗の洋式化、新規パネルの購入）の話があった。

- ・実施内容については、「千代紙人形づくり」&「地域活動相談コーナー」に決定した。難波委員、栗原委員、結城委員で千代紙人形材料と個装のお菓子を準備する。千代紙人形づくり製作と指導は栗原委員が担当する。例年どおり、学習館への意見や要望を記入いただいた来場者に千代紙人形とお菓子を進呈する。地域活動相談コーナーでは、冊子を活用してサークルや講師の紹介、ボランティア情報などを提供する。難波副会長が生涯学習市民リーダー紹介の展示物を手配する。

小林委員が「まちねっと」（地域情報）に記事を掲載してくれることになった。

- ・作品展準備会(4/7)の配布資料について事務局より説明があった。密にならないよう、パネル運搬、設営、撤収など共同作業は職員だけで行う。実費頒布や実習はなし。感染症対策について周知する資料も参加団体に配布する。新規パネルや他館から移管した高さのあるパネルを有効に使用する。作品展準備会には難波副会長が出席。演奏会の方は参加団体と日程調整を行う予定。

(4) 事業検討

- ・次年度実施予定の地域活性化事業について事務局より説明があった。子ども対象の児童館共催の「きりえ」講座、立川女子高等学校と連携のクッキング講座についてはコロナ感染状況を見ながら、講師の意向や会場に合わせた回数（人数制限、保護者同伴など）や内容（クッキング以外）を工夫しながら実施できないか検討していくことになった。「アール・ブリュット立川」は9月に開催予定。開催期間中のワークショップの時に「0円ショップ」を実施できたらと考えている。健康フェアは未定。「ファミリーコンサート」は出演者と日程(11月)調整する予定。落語会は1月予定。「誰でもコンサート」は3/12に幸学習館にて、式町水晶さんが出演予定。「アンガーマネジメント」講座は3/1、3/15実施予定。映画会(2月)、健康講座も実施に向けて検討中。

4. その他

- ・次回会議日程について確認した。

5. 地域課題共有(地運協運営状況)

- ・各委員より
 - ・地域福祉コーディネーター(小林委員)：継続してこの地域を担当する。
 - ・高松児童館：学習館文化祭作品展に出展する作品(巨大貼り絵)に4月に取り組む。行事も少しずつ再開していくところだが、まだ予断を許さない状況なので感染対策を徹底して工夫しながらアイデアを出し合っていきたい。
 - ・男性お手洗の壁が剥がれたままで見栄えが悪い。予算の都合により修繕は来年度以降になる見込み。
 - ・施設内の掲示や配架、会議資料作りについて委員からいろいろとアドバイスや指摘をいただいて改善されてきている。
 - ・文化祭作品展が無事に開催できることを願っている。
 - ・寿教室の修講式と開講式は中止だが、会費還元、継続手続き、新年度体制のしおり配布などを実施している。密にならないよう工夫しながら体操、気功、民謡を実施していくことになっている。高齢者なので感染症対策をしながら参加していけるようにしていきたい。

以上